

アメリカ穀物協会主催  
バーチャル米国コーンアウトルックカンファレンス 2021

講演者略歴



Reece Cannady リース・キャナディ  
Manager of Global Trade, U.S. Grains Council  
アメリカ穀物協会グローバルトレード・マネージャー

キャナディは、アメリカ穀物協会のグローバルトレード・マネージャーとして、貿易に関する専門知識を生かし、協会と米国や世界のトレーダーとの関係の強化や、米国の飼料穀物およびその関連製品の輸出市場での存在に貢献している。協会に勤める以前は、テキサス州アマリロで2年間、トレーダーとして Attebury Grain, LLC 社に勤務し、特に本社とメキシコの事務所との間の小麦輸出に携わった。また、米国内の肉牛給餌に関して、テキサス州、カンザス州、オクラホマ州にわたる地域の顧客にサービスを提供し、テキサスで飼料事業を営む外資系企業と密接に協力した経験を持つ。



Mark Wilson マーク・ウィルソン  
Illinois Corn イリノイ州トウモロコシ委員会

マーク・ウィルソンは、イリノイ州トゥーロン近くの穀物と家畜の農場で育ち、1984年にアイオワ州立大学を卒業した。1988年から家族経営の農場でトウモロコシと大豆を生産している。また、6,000頭の豚を離乳期から終齢期まで飼育し、毎年数頭の雄牛の給餌と飼育を行っている。

イリノイ州トウモロコシマーケティング委員会の輸出委員会委員長、書記、会計、そして現在は副会長として活躍している。また、米国穀物協議会のアジア諮問チームのリーダーとしても活躍し、世界中の農家や顧客との関係を築くことに注力している。



Jason Sagebiel, ジェイソン・セージビール  
StoneX Group Inc. ストーン・エックス・グループ

2000年より StoneX 社にて穀物、エネルギー、原料、副産物、投入資材の調達、エタノール販売など、エタノール業界におけるリスク管理のあらゆる面での経験を積んだ。エタノール業界のみならず、穀物エレベータ、エタノール製造業者、畜産業などの穀物エンドユーザーと協力して、収益確保とそのリスク軽減に取り組んできた。現在、StoneX Financial Inc.の再生可能燃料部門の地域ディレクター兼ディレクターであると同時に、リスク管理コンサルタン

トである。 StoneX 社は、上場 (SNEX) されている商品リスク管理のアドバイザーおよび執行会社で、所属する The Renewable Fuels Group は、アイオワ州ウェストデュモインに拠点を置いている。



Jay O'Neil ジェイ・オニール

HJ O'Neil Commodity Consulting

Eagle Point, Oregon, USA

HJ オニールコモディティコンサルティング

Jay has 46 years' experience in the Grain industry.

ジェイ・オニールカンザス州立大学の国際穀物プログラム (IGP) の上級農業エコノミストとして 12 年勤めたのちに独立し、HJ オニールコモディティコンサルティングを経営し、輸送・輸出レポートを毎週発行している。それ以前は、穀物トレーダーおよび貿易グループマネージャーとして Continental Grain、The Pillsbury Company、The Ferruzzi Group、Bartlett Grain 社で務めたほか、国内外の穀物会社のプライベートコンサルタントとして、これまでに 46 カ国の穀物バイヤーと仕事をしてきた。また、NAEGA (North American Export Grain Assoc.) の契約および仲裁委員会の名誉会員であり、現在も NAEGA の仲裁人を務めている。